

事業名	所運営費(食肉衛生検査所)			調書番号	50
細事業名	食肉衛生推進事業費	財務コード	087804		
担当部課室	福祉保健 部 衛生業務 課 食品衛生・動物愛護 担当 (内線)			3457	

## 事業の概要

実施期間	始期 S46 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	食肉、食鳥肉関係業者及び関係施設	処理工程における取扱い状況の検査及び指導により衛生的に管理されている食品等の適切な取扱いを正しく理解している
結果、何に結びつけるのか	食肉・食鳥肉による事故防止	
内容 主に27年度	食肉衛生検査所において、7月下旬から9月上旬に大規模な食肉及び食鳥肉関係施設2施設に対し次の事業を実施する ・細菌学的検査等に基づく施設及び施設から食鳥肉を搬出する輸送車の衛生状況を確認する ・検査結果に基づく施設及び輸送車への衛生指導、従事者等講習会による衛生教育を行う [内容] 細菌学的ふきとり検査・スタンプ検査 126箇所 (施設 106、車両14、と体6) ATP検査 297箇所(手指111、車両121、施設65) 従業員等講習会 4回 109名	

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	ふきとり検査等検体数 ふきとり検査・スタンプ検査 ATP検査	目標	700	700	700	700	850	550	
		実績(見込)	439	673	393	428	423	550	
		達成率	62.7	96.1	56.1	61.1	49.8		
		達成区分	c	b	c	c	c		
成果指標	従業員等講習会受講者数	目標	100	100	100	100	100	100	
		実績(見込)	113	123	117	130	109	100	
		達成率	113.0	123.0	117.0	130.0	109.0		
		達成区分	b	a	b	a	b		
決算(予算) 単位:千円		601	601	455	509	528	447	447	

## 事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	b	評価	両施設とも積極的に事業に取り組んでおり、検体採材から講習会での発表などの自主衛生管理を推進しており、目標値に対する達成率は低いものの評価できるものである
成果指標	b		講習会は推進運動期間に行った活動報告や検査結果、改善点などの内容を含み、また、従業員が発表する時間を増やして施設が自主的な講習会を実施できるよう推進していることから、目標を上回る従業員が参加しており意図した成果をほぼ上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## 見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	推進運動事業に対し、対象2施設が講習会やふきとり検査の実施に積極的に取り組んでおり、自主衛生管理への意識の向上が認められる		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	と畜場及び大規模食鳥処理場ではHACCP方式を用いた自主衛生管理体制を導入したことから、衛生管理がマニュアルどおりに実施されているか行政が「検証」する立場としてどのように関与していくか検討する必要がある。		

## 見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	これまでHACCP方式を用いた自主衛生管理体制の導入を推進してきたが、と畜場及び大規模食鳥処理場が導入を開始したことから、衛生管理がマニュアルどおりに実施されているか細菌検査結果に基づく検証を実施する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。